

県庁～前橋駅クリエイティブシティ構想 まちづくりオープンハウス



道路空間イメージ(前橋市アーバンデザインより)

オープンハウスでみなさまのご意見をお聞かせください！

『前橋中心市街地（県庁～前橋駅間）における
まちづくりについて、みなさんが期待すること、
気になること、不安に思うことは、どんなことですか？』



事前申込不要
気軽にお越しください

開催日時・場所

7/21日

けやきウォーク前橋

2階中央7リッジ

7/28日

馬場川通り

紺屋町広場 ※雨天中止

各日 午前11時 ▶ 午後4時頃を予定

オープンハウスでアンケートにご協力いただいた方
にはぐんまちゃんグッズをプレゼント(先着順)



○オープンハウスとは

事業に関する内容・取組の周知及び沿線地域にお
住まいの方のご意見をお聞きするために、パネル
の展示やアンケート、事業の説明等を行うものです。



WEBアンケートでもご意見をお伺いいたします

アンケート内容

『前橋中心市街地（県庁～前橋駅間）におけるまちづくりについて、
みなさんが期待すること、気になること、不安に思うことは、どんなことですか？』

回答時間(目安)
3～5分程度

▼こちらから

回答期限: 令和6年7月26日(金)締め切り **アンケートにご協力ください!**

◆問い合わせ先

前橋市 都市計画課 都市施設係 電話027-898-6944

群馬県 都市整備課 事業推進係 電話027-226-3840



●県庁～前橋駅クリエイティブシティ構想のテーマ

世界に誇れる持続的な県都の発展を目指し、革新的な都市機能の充実を図る未来のまちづくり

●県庁～前橋駅クリエイティブシティ構想の主旨

群馬県前橋市の中心市街地は、社会経済状況の変化とともに、人通りが疎らで閑散としているなど、賑わいの少ない状況となっています。

この現状を改善するため、前橋市は文化芸術交流の促進、職住近接性の向上、経済活力の強化、デザイン性を高めることを基本方針とし、官民連携による持続可能なまちづくりを推進しています。

これにより、民間の活力を活かした老舗旅館のリノベーションやクリエイティブな拠点の建設、小河川の改修による賑わい空間の創出など、中心市街地は徐々に元気を取り戻しています。

中心市街地の状況



1976年



2017年



現在

しかし、県庁から前橋駅に至るメインストリートは人通りが少ない、賑わいに欠ける、変則五差路となっている本町二丁目交差点が通行者にとって利用しづらいなどの課題が残ったままです。

また、このメインストリートでは、自動運転レベル4に向けた取り組みが進行中であり、県内では新たなモビリティサービス「GunMaaS」がスタートするなど、交通環境の変化にも対応していく必要があります。



県庁前通り



自動運転実証実験



GunMaaS
INNOVATE YOUR TRIPS

今後、これらの課題に個々に対処すると、統一感が失われ、魅力に欠ける街並みが形成される可能性があるため、未来を指向するデザインコンセプトが必要であり、群馬県ではメインストリートにおいて、構想デザインの策定を進めています。

この構想デザインでは、メインストリートを公共交通と人中心のウォカブルな道路空間に変貌させ、賑わいとふれあいを創出し、将来に向けて住民や訪問者が夢や希望を抱き続けることができるよう、群馬県らしい独自の価値を創造することを目指します。

<今後の流れ>

地域の皆様にアンケートやオープンハウスなどで意見を伺いながら、デザインコンペを通じて、構想デザインの策定を進めます。

歩 ムーカブルってなに？

世界中の多くの都市で、街路空間を車中心から”人中心”の空間へと再構築し、沿道と路上を一体的に使って、人々が集い憩い多様な活動を繰り広げられる場へとしていく取組が進められています。

この取組から、居心地がよく歩きたくなるまちを目指すことをウォカブルなまちづくりといいます。



道路ビジョン(国土交通省)より

人中心の空間として再生したまちのメインストリート